

第2回真庭市地域クラブ活動推進協議会 会議録

日時	令和8年2月9日(月) 18:00~
会場	真庭市役所 3階会議室
出席者	(委員) 長尾委員、大久保委員、前田委員、志田委員、磯田委員、三宅委員、坂根委員、結家委員、柴田委員、木田委員、野々上委員、瀬島委員、松下委員、三村委員、浅野委員
	(事務局) スポーツ・文化振興課：佐藤課長、杉村課長補佐、大倉課長補佐 教育総務課：中川課長、樋口参事 学校教育課：田中課長、妹尾主任 生涯学習課：福井課長、大久保主事
主な内容	
佐藤スポーツ・文化振興課長	
1. 開会	
2. あいさつ <b>長尾会長</b>	
3. 報告・協議 <b>進行：長尾会長</b>	
(1) 地域クラブ活動に係る現状について・・・資料1	
①国の動向について説明	
②真庭市の動きについて説明	
・実証事業の報告について説明	
<b>事務局全体説明、真庭スポーツ振興財団、フィールドオブドリームス真庭、真庭エスパス文化振興財団から詳細説明</b>	
・先進地視察（新潟県村上市）について説明	
<b>・村上市の推進体制について、1つの総合型地域スポーツクラブが村上第一中ど村上東中の2校で指導しているのか。</b>	
<b>→事務局) 旧町村ごとに総合型地域スポーツクラブを設置しており、その中で一緒に指導している。</b>	
<b>・村上市の生徒の輸送はどうしているのか。何か工夫されていることはあったか。</b>	
<b>→事務局) 基本、学区内で活動しているため、送迎は保護者で行っている。</b>	
(2) 来年度からの取り組みについて・・・資料2	
・課題解決に向けた取り組みについて説明	

・財団が実施する活動の参加費について、国が示しているのが 1000円～3000円が 1 つの基準となっており、真庭市内では月会費が2000円程度となっている。実証事業では200円/回、月4回と考えれば 1回 500円となり、1回あたりの単価が高く印象だが、その辺りをどういう風に説明していくのか。

→財団) 参加費の設定については、活動によっては多くの会場で実施するようになり、指導者もそれぞれで指導してもらおうようになる。市が国の基準にあわせた補助金を出すように考えているが、この中だけは賄うことができない。ぎりぎりのラインで予算を組んで、赤字になる覚悟で今の設定となっている。そういうことも含めて説明していく必要があると考えている。

・コーディネーター) 入学説明会で月に1000円～3000円程度の参加費がかかる旨をお伝えしたが、特に意見はなかった。いくらかはお金がかかると認知されているのではと感じた。

・学校等の施設を使用する場合、施設が痛んできたら修理等はどうするのか。

→事務局) 学校施設については、通常のは学校で修理をします。ただ、何か壊した場合などは、地域クラブ活動側で個人が加入した保険で対応することとなる。

・地域クラブ活動の認定及び参加者募集について説明。

### (3) 真庭市地域クラブ活動に関する方針の見直しについて

○国が「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」(R7.12)を策定したことによる改訂

主な見直し点：地域クラブ→地域クラブ活動

可能な範囲で市内高校と連携することを明記

地域クラブ活動総括コーディネーターの明記

・フィールド) 今後の少年野球も踏まえて、野球は縦の繋がりを取って、小学生が中学生に、中学生が高校生に憧れるというような循環を作っていきたい。選択肢の1つとして、今後、そういう活動が今後、野球が取り組んでいきたい。高校と連携と明記したことは大変ありがたい。

・地域クラブと地域クラブ活動の点が若干整合が取れていない部分がある。

→改めて確認し、訂正する。

※協議会后、岡山県も「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を策定こととなり、あわせて訂正

・市内から津山中に通っている子が実証事業で参加していた。津山中学校への情報提供などはできないか。

→英語検定の補助金の情報を、津山中にも流している。ルートはあるので、必要に応じて案内ができると思う。

8. その他

真庭市スポーツ協会20周年記念事業・指導者等研修会の紹介

9. 閉会 野々上副会長